

5 ごみ・資源

(1) 収集の状況とリサイクル率

ア 収集量・持込量の年度別実績

単位 [t]

区 分		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
①収集人口[人] (10月1日現在)		562,781	563,327	563,538	562,522	562,828
収 集 量	② 可燃ごみ	84,823	85,216	83,592	83,295	83,691
	③ 不燃ごみ	5,433	5,190	5,040	4,573	4,604
	④ 粗大ごみ	2,261	2,373	2,120	2,282	2,586
	⑤ 有害ごみ	345	372	337	345	352
	⑥ 資源物	32,556	31,608	31,136	30,933	31,379
	⑦ 不法投棄ごみ	23	24	16	22	15
	⑧ 側溝清掃ごみ	106	108	104	119	80
	計	125,547	124,891	122,345	121,569	122,707
持 込 量	⑨ 事業系可燃ごみ	29,574	27,725	26,427	25,121	26,478
	⑩ 家庭系可燃ごみ	2,489	2,359	2,061	1,787	1,501
	⑪ 家庭系不燃ごみ	967	883	865	772	622
	⑫ 拠点資源物	1,126	546	482	436	404
	計	34,156	31,513	29,835	28,116	29,005
合 計		159,703	156,404	152,180	149,685	151,712
資源集団回収量		8,226	7,901	7,615	7,301	6,926
総ごみ量		167,929	164,305	159,795	156,986	158,638

単位 [g/(人・日)]

原 単 位 （ 収 集 量 ま た は 持 込 量 / ①/ 3 6 5 日 ま た は 3 6 6 日）	収 集 量	可燃ごみ	412	414	406	406	406
		不燃ごみ	26	25	25	22	22
		粗大ごみ	11	12	10	11	13
		有害ごみ	2	2	2	2	2
		資源物	158	154	151	150	152
		不法投棄・側溝清掃	1	1	1	1	1
		計	610	608	595	592	596
	持 込 量	事業系可燃ごみ	143	135	129	122	129
		家庭系可燃ごみ	12	11	10	9	7
		家庭系不燃ごみ	5	4	4	4	3
		拠点資源物	5	3	2	2	2
		計	165	153	145	137	141
	合 計		775	761	740	729	737
	資源集団回収量		40	38	37	36	33
総ごみ量		815	799	777	765	770	

※収集人口には外国人登録者数を含む。

※平成27年度の持込量拠点資源物には、本庁及び学校の紙資源を含む。

令和元年度は上記とは別に、令和元年度東日本台風で発生した345 tの市内の災害廃棄物（災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったもの）及び広域支援ごみ（栃木県鹿沼市：141 t、宮城県大崎市：81 t）を処理している。

イ 資源物の戸別回収状況

単位 [t]

区 分		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
古 紙	新聞	2,029	1,829	1,674	1,452	1,439
	ダンボール	4,097	4,122	4,132	4,186	4,439
	雑誌・雑紙	10,092	9,520	9,147	9,164	9,208
	紙パック	118	118	118	115	112
	計	16,336	15,589	15,071	14,917	15,198
空きびん		4,453	4,330	4,238	4,057	3,936
空き缶		1,495	1,452	1,413	1,394	1,417
古着・古布		2,439	2,380	2,412	2,463	2,622
容器包装プラスチック		5,854	5,853	5,967	6,025	6,107
ペットボトル		1,979	2,004	2,035	2,059	2,074
剪定枝		—	—	—	18	25
合 計 ⑥		32,556	31,608	31,136	30,933	31,379

ウ 資源物の拠点回収状況

単位 [t]

区 分		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
新聞		37	24	22	15	9
ダンボール		256	179	151	136	129
雑誌・雑紙		828	339	306	281	262
紙パック		1	1	(0.5未満)	1	1
はがき		4	3	3	3	3
上履き・靴		—	(0.5未満)	(0.5未満)	(0.5未満)	(0.5未満)
合 計 ⑫		1,126	546	482	436	404

※雑誌・雑紙にはシュレッダー紙を含む。

※平成27年度には、本庁及び学校の紙資源を含む。

※0.5未満の実績について、紙パックは、平成29年度(2017年度):440kg、上履き・靴は、平成28年度(2016年度):100kg、平成29年度(2017年度):100kg、平成30年度(2018年度):280kg、令和元年度(2019年度):330kgとなっている。

工 資源集団回収状況

単位[t]

区 分	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
新 聞	3,607	3,260	3,011	2,688	2,358
ダ ン ボ ー ル	1,360	1,393	1,382	1,388	1,367
雑 誌 ・ 雑 紙	2,559	2,531	2,501	2,501	2,450
紙 パ ッ ク	80	81	81	81	80
生 き び ん	5	6	6	6	5
雑 び ん	53	59	60	55	55
ス チ ー ル 缶	38	39	40	41	40
ア ル ミ 缶	169	169	167	168	173
古 着 ・ 古 布	346	355	358	365	391
金 属 く ず	9	8	9	8	7
計	8,226	7,901	7,615	7,301	6,926
補 助 金 額 [円]	63,577,360	61,473,707	59,450,569	57,170,374	54,625,437
団 体 数 [団体]	390	388	388	389	389

オ 資源化量の年度別実績

単位 [kg]

区 分		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	
⑬ 収集	新聞	2,028,930	1,828,650	1,674,090	1,451,820	1,439,100	
	ダンボール	4,096,560	4,122,410	4,132,320	4,185,840	4,439,520	
	雑誌・雑紙	10,092,470	9,519,650	9,146,730	9,163,990	9,207,620	
	紙パック	118,180	117,620	117,600	115,320	112,440	
	空きびん	4,360,670	4,171,320	4,040,110	3,884,490	3,694,800	
	スチール缶	813,600	759,315	700,070	672,600	670,910	
	アルミ缶	578,155	590,685	612,170	626,170	646,205	
	古着・古布	2,438,990	2,379,650	2,412,000	2,463,530	2,621,810	
	容器包装プラスチック	5,029,140	5,005,380	5,037,760	5,146,730	5,227,960	
	ペットボトル	1,590,310	1,636,240	1,612,100	1,696,310	1,660,690	
	容ブラ・ペットボトル残渣	—	—	29,220	1,760	—	
	剪定枝	—	—	—	17,670	24,940	
	計		31,147,005	30,130,920	29,514,170	29,426,230	29,745,995
⑭ 持込	古紙	1,126,130	546,550	482,320	435,650	403,540	
	はがき	(3,860)	(3,320)	(3,160)	(2,730)	(2,930)	
	上履き・靴	—	100	100	280	330	
	計	1,126,130	546,650	482,420	435,930	403,870	
⑮ 中間	戸吹清掃工場	鉄	435,100	414,920	330,940	367,050	424,380
		焼却灰	7,743,840	7,327,320	6,875,630	6,500,400	7,103,781
	小 計	8,108,940	7,742,240	7,206,570	6,867,450	7,528,161	
	北野清掃工場	鉄	61,380	52,260	56,940	53,390	55,150
		焼却灰	2,760,000	2,597,330	2,659,300	2,598,790	2,732,167
	小 計	2,821,380	2,649,590	2,716,240	2,652,180	2,787,317	
	戸吹不燃物 処理センター	鉄	1,295,850	1,154,240	1,012,610	1,195,610	1,205,250
		非鉄金属	266,950	292,460	268,620	297,200	295,270
		自転車	156,660	143,090	145,130	144,270	148,870
		小型家電	658,350	727,570	743,120	162,480	157,174
		基板等	—	—	—	4,050	2,090
		2次乾電池	1,170	—	—	—	—
		スプレー缶等	105,150	129,950	132,320	132,800	132,600
雑線		31,540	15,240	47,990	44,550	39,470	
ガラス陶磁器		98,190	179,850	150,930	124,760	102,290	
傘等		—	77,010	74,420	77,370	88,810	
ゴルフクラブ		—	—	—	—	4,270	
フロン回収品		—	5,330	7,160	5,690	8,190	
不燃残渣		—	—	5,300	44,320	32,807	
その他	42,000	44,290	36,750	53,520	32,580		
小 計	2,655,860	2,769,030	2,624,350	2,286,620	2,249,671		
粗大再生品	113,805	82,852	77,148	72,616	67,750		
乾電池・蛍光管	80,037	81,500	84,430	168,830	81,564		
中 計	2,849,702	2,933,382	2,785,928	2,528,066	2,398,985		
プラスチック 資源化センター	容器包装プラ	(5,029,140)	(5,005,380)	(5,037,760)	(5,146,730)	(5,227,960)	
	ペットボトル	(1,590,310)	(1,636,240)	(1,612,100)	(1,696,310)	(1,660,690)	
	容ブラ・ペット残渣	—	—	(29,220)	(1,760)	—	
小 計	(6,619,450)	(6,641,620)	(6,679,080)	(6,844,800)	(6,888,650)		
多摩清掃工場	鉄	149,450	159,070	139,250	167,670	173,500	
	非磁性物/落塵灰等(R1~)	25,810	39,320	41,800	42,040	76,900	
	焼却灰	2,785,760	3,070,600	3,100,780	3,300,980	3,170,090	
	小 計	2,961,020	3,268,990	3,281,830	3,510,690	3,420,490	
多摩清掃工場 不燃・粗大 処理施設	鉄	443,690	420,140	415,870	447,430	411,230	
	非鉄金属	35,570	30,950	32,260	34,340	30,200	
	自転車	10,070	7,450	3,930	3,310	5,350	
	基板等	600	520	210	250	0	
	家具・羽毛布団・CD	—	820	5,120	7,490	3,870	
	フロン回収品	2,080	2,710	2,420	2,320	2,320	
	その他	70	1,340	—	1,010	620	
	小 計	492,080	463,930	459,810	496,150	453,590	
	乾電池・蛍光管	33,700	35,220	31,110	37,780	34,260	
	中 計	525,780	499,150	490,920	533,930	487,850	
計	17,266,822	17,093,352	16,481,488	16,092,316	16,622,803		
⑯ 資源化量	⑬+⑭+⑮	49,539,957	47,770,922	46,478,078	45,954,476	46,772,668	
⑰ 資源集団回収量		8,226,110	7,900,590	7,614,913	7,300,684	6,925,947	
総資源化量	⑯+⑰	57,766,067	55,671,512	54,092,991	53,255,160	53,698,615	

※令和元年度(2019年度)は上記とは別に、令和元年度東日本台風で発生した345,400kgの市内の災害廃棄物(災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったもの)から80,221kgを資源化している。

※多摩清掃工場

非磁性物/落塵灰等(R1~) 平成30年度(2018年度)までは非磁性物のみ、令和元年度(2019年度)以降は非磁性物、落塵灰

※戸吹不燃物処理センター

- 鉄……………処理困難鉄、処理磁性
- 非鉄金属……………アルミ等、選別金属
- 基板等……………小型家電由来の電子回路基板、携帯電話
- スプレー缶等……………スプレー缶、ライター、炭酸ガスボンベ
- その他……………コンクリートブロック、バッテリー、バイクなど、不法投棄ごみ等からの資源物

※多摩清掃工場不燃・粗大処理施設

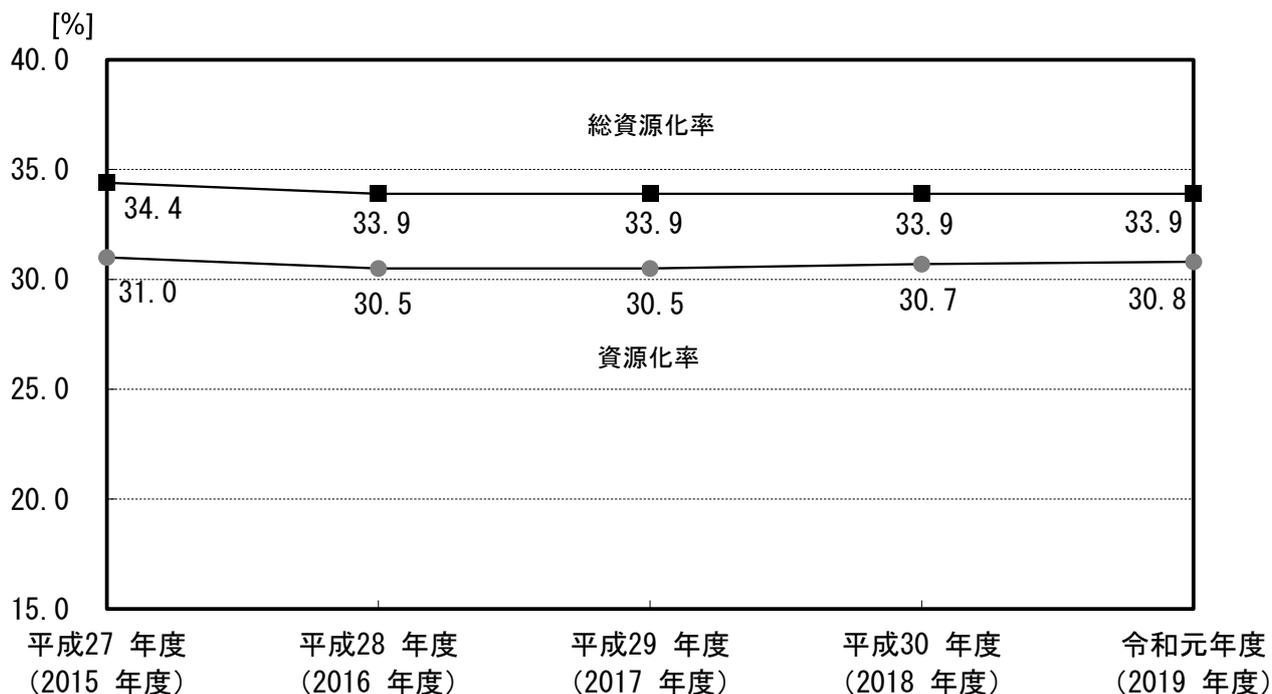
- 鉄……………鉄類(処理後のスプレー缶分も含む)
- 非鉄金属……………アルミ類(処理後のスプレー缶分も含む)、銅管
- 基板等……………小型家電由来の電子回路基板、携帯電話
- その他……………バッテリー、消火器など、不法投棄ごみ等からの資源物

カ 収集量・持込量と資源化量

単位 [t]

区 分	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
A 収集ごみ量 ②+③+④+⑤+⑦+⑧	92,991	93,283	91,209	90,636	91,328
B 持込ごみ量 ⑨+⑩+⑪	33,030	30,967	29,353	27,680	28,601
C 収集・持込資源物回収量 ⑥+⑫	33,682	32,154	31,618	31,369	31,783
D 収集・持込資源物資源化量 ⑬+⑭	32,273	30,677	29,996	29,862	30,150
E 中間処理後の資源化量 ⑮	17,267	17,094	16,482	16,092	16,623
F 資源集団回収量 ⑰	8,226	7,901	7,615	7,301	6,926
G ごみ量 A+B+C	159,703	156,404	152,180	149,685	151,712
H 総ごみ量 A+B+C+F	167,929	164,305	159,795	156,986	158,638
I 資源化量 D+E	49,540	47,771	46,478	45,954	46,773
J 総資源化量 D+E+F	57,766	55,672	54,093	53,255	53,699

キ 総資源化率及び資源化率の推移



※総資源化率及び資源化率の算出方法

$$\text{総資源化率} [\%] = \frac{\text{総資源化量 J}}{\text{総ごみ量 H}} = \frac{\text{資源物資源化量 D} + \text{中間処理後の資源化量 E} + \text{資源集団回収量 F}}{\text{収集ごみ量 A} + \text{持込ごみ量 B} + \text{資源物回収量 C} + \text{資源集団回収量 F}}$$

$$\text{資源化率} [\%] = \frac{\text{資源化量 I}}{\text{ごみ量 G}} = \frac{\text{資源物資源化量 D} + \text{中間処理後の資源化量 E}}{\text{収集ごみ量 A} + \text{持込ごみ量 B} + \text{資源物回収量 C}}$$

(2) 各種データ

ア 収集量・持込量の施設別搬入実績（令和元年度）

単位 [t]

区 分		搬 入 先							計
		焼 却 施 設			不 燃・粗大処理施設		資 源 化 施 設		
		戸 吹 清 掃 工 場	北 野 清 掃 工 場	多 摩 清 掃 工 場	戸 吹 不 燃 物 理 セ ン タ ー	多 摩 清 掃 工 場	プ ラ ス チ ャ ッ ク 資 源 化 セ ン タ ー	資 源 物 選 別 施 設	
収 集	可 燃 ご み	35,292	23,634	24,765					83,691
	不 燃 ご み				3,761	843			4,604
	粗 大 ご み	976			931	679			2,586
	有 害 ご み				286	66			352
	資 源 物						8,181	23,198	31,379
	不 法 投 棄 ご み	4			10	1			15
	側 溝 清 掃 ご み	48	32						80
持 込	可 燃 ご み	25,036	439	2,504					27,979
	不 燃 ご み				359	263			622
	抛 点 資 源 物							404	404
計		61,356	24,105	27,269	5,347	1,852	8,181	23,602	151,712

※上記とは別に、令和元年度東日本台風で発生した345tの市内の災害廃棄物（災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったもの）及び広域支援ごみ（栃木県鹿沼市：141t、宮城県大崎市：81t）を処理している。

イ 施設別総搬入実績（令和元年度）

単位 [t]

区 分		搬 入 先							計
		焼 却 施 設			不 燃・粗大処理施設		資 源 化 施 設		
		戸 吹 清 掃 工 場	北 野 清 掃 工 場	多 摩 清 掃 工 場	戸 吹 不 燃 物 理 セ ン タ ー	多 摩 清 掃 工 場	プ ラ ス チ ャ ッ ク 資 源 化 セ ン タ ー	資 源 物 選 別 施 設	
収 集・持 込 ご み		61,356	24,105	27,269	5,347	1,852	8,181	23,602	151,712
選 別 物		3,528		1,523	81				5,132
計		64,884	24,105	28,792	5,428	1,852	8,181	23,602	156,844

※上記とは別に、令和元年度東日本台風で発生した345tの市内の災害廃棄物（災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったもの）及び広域支援ごみ（栃木県鹿沼市：141t、宮城県大崎市：81t）を処理している。

ウ 焼却施設の実績（令和元年度）

単位 [t]

区 分	戸吹清掃工場		北野清掃工場		多摩清掃工場	計		
	災害廃棄物除く	災害廃棄物含む	災害廃棄物除く	災害廃棄物含む		災害廃棄物除く	災害廃棄物含む	
稼働日数 [日]	356		310		325	—		
搬入量 (焼却量)	64,884 (64,208)	65,296 (64,600)	24,105 (23,975)	24,209 (24,079)	28,792 (28,640)	117,781 (116,823)	118,297 (117,319)	
焼却残灰	エコセメント	7,043	7,079	2,725	2,725	3,073	12,841	12,877
	溶融固化物	60	155	7	18	97	164	270
金属分	425	425	55	55	251	731	731	
埋立	—	—	—	—	—	—	—	
搬出量	7,528	7,659	2,787	2,798	3,421	13,736	13,878	
うち資源化量	7,528	7,659	2,787	2,798	3,421	13,736	13,878	

※焼却残灰は全量資源化されている。

※災害廃棄物とは災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったものをいう。

※災害廃棄物の内数は以下の通り。

戸吹清掃工場

搬入量 : 市内190t、栃木県鹿沼市141t、宮城県大崎市81t

焼却量 : 市内170t、栃木県鹿沼市141t、宮城県大崎市81t

エコセメント : 宮城県大崎市36t

溶融固化物 : 市内18t、栃木県鹿沼市77t

うち資源化量 : 市内18t、栃木県鹿沼市77t、宮城県大崎市36t

北野清掃工場

搬入量 : 市内104t

焼却量 : 市内104t

溶融固化物 : 市内11t

うち資源化量 : 市内11t

工 不燃・粗大処理施設の実績（令和元年度）

単位 [t]

区 分	戸吹不燃物 処理センター		多摩清掃工場	計	
	災害廃棄物除く	災害廃棄物含む		災害廃棄物除く	災害廃棄物含む
稼働日数 [日]	219		209	—	
搬入量	5,428	5,505	1,852	7,280	7,357
有価物	1,924	1,955	450	2,374	2,405
非有価物 (乾電池・蛍光管委託処理)	572 (173)	592 (173)	38 (35)	610 (208)	630 (208)
埋立	—	—	—	—	—
可燃物	2,622	2,648	1,199	3,821	3,847
搬出量	5,118	5,195	1,687	6,805	6,882
うち資源化量	2,400	2,451	487	2,887	2,938

※（ ）は内数を表す。

※搬入量と搬出量は、蒸発や一時保管等の理由で一致しない場合がある。

※有価物には粗大再生品を含む。

※可燃物は戸吹清掃工場及び多摩清掃工場で焼却処理する。

※資源化量には、搬出した可燃物が焼却処理後に資源化される量含まない。

※資源化量に粗大再生品、乾電池・蛍光管の資源化された量を含む。

※災害廃棄物とは災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったものをいう。

※災害廃棄物の内数は以下の通り。

戸吹不燃物処理センター

搬入量 : 市内77t

有価物 : 市内31t

非有価物 : 市内20t

可燃物 : 市内26t

うち資源化量 : 市内51t

オ プラスチック資源化センターの実績（令和元年度）

単位 [t]

区 分	容器包装 プラスチック	ペットボトル	計
稼働日数 [日]	258	258	—
搬入量	6,107	2,074	8,181
再商品化量	5,228	1,661	6,889
可燃物	—	—	1,169
不燃物	—	—	6
搬出量	—	—	8,064
うち資源化量	—	—	6,889

※搬入量と搬出量は、蒸発や一時保管等の理由で一致しない場合がある。

※可燃物と不燃物はあわせて搬出しているため合計値のみを記載する。

※可燃物の一部は資源化し、残りは戸吹清掃工場で焼却処理する。

※不燃物は戸吹不燃物処理センターで選別処理する。

※資源化量には、戸吹清掃工場と戸吹不燃物処理センターで処理され資源化される量含まない。

カ ニツ塚最終処分場・エコセメント化施設年度別実績

区 分		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
不 燃 残 渣	埋立重量 [t]	86	60	40	—	—
	埋立容量 [m ³]	88	61	40	—	—
	搬入配分量 [m ³]	248	268	144	103	83
	搬入配分貢献量 [m ³]	160	207	104	103	83
焼 却 残 渣	埋立重量 [t]	—	—	—	—	—
	埋立容量 [m ³]	—	—	—	—	—
	エコセメント化 施設搬入量 [t]	13,220	12,945	12,519	12,244	12,841
	搬入配分量 [t]	11,060	11,124	10,658	11,178	11,177
	搬入配分貢献量 [t]	-2,160	-1,821	-1,861	-1,066	-1,664

※平成7年3月から平成10年4月までは谷戸沢処分場へ、それ以降はニツ塚処分場へ搬入している。

※搬入配分量とは東京たま広域資源循環組合が各組織団体に対して年度ごとに設定している廃棄物搬入量の目標値のことをいう。

※搬入配分貢献量とは搬入配分量から搬入実績量を差し引いたものをいう。

キ 最終処分場搬入実績累積量

谷戸沢処分場搬入実績累積量 (平成6年度(1994年度)～平成10年度(1998年度))	68,926 m ³
ニツ塚処分場搬入実績累積量 (平成9年度(1997年度)～令和元年度(2019年度))	182,575 m ³
エコセメント化施設搬入実績累積量 (平成18年度(2006年度)～令和元年度(2019年度))	160,192 t